（イ）課題番号２

| 課題分野：Ⅰ | 課題名：「イチジクの高品質安定生産の推進」 | |
|---|---|---|
| 対象：<br>①～③：イチジク生産者・出荷組合 | 計画期間：H27～28<br>農林振興事務所名：北部農林振興事務所 | |
| 普及指導事項 | 活動内容 | 活動成果 |
| ①首都圏出荷体制の構築<br>②難防除病害虫の防除<br>③高品質果実の安定出荷 | ①検討会や出荷果実の目揃え会、打ち合わせ等を重ね、関係者で情報共有を密に行った。また、首都圏市場からの要望に応えてポップ（広告）を作成。<br>②青色粘着シートによるアザミウマ類の発生予察を実施。また、通常株と株枯病抵抗性台木株の果実品質について、比較試験を実施。<br>③現状の出荷規格を見直す検討会、栽培管理技術や病害虫防除等についての講習会を実施。 | ①８月上旬～10月上旬まで露地イチジクを大田市場へ出荷。<br>②アザミウマ類の発生消長を確認でき、収穫初期の果実被害を抑えることができた。<br>③新たな出荷規格を策定した組合数が２組合増。また、新たな出荷規格で大和郡山市の産地を統一化。 |

総合評価（コメント）

Ａ：５名
■農商工連携などで加工品開発が進むような働きかけも積極的に行っていただきたい。
■県の推し進める戦略の中で、リーディング品目に次いで生産額を押し上げる可能性がある品目と思われるので、頑張って頂きたい。
■愛知県が生産量全国トップということだが、具体的な産地は思い浮かばない。継続出荷で、大和郡山のイチジクが首都圏でもブランド力を持つ可能性を感じる。
■おおむね適切である。

Ｂ：１名
■ひきつづき、新たな販売先や出荷量の増加に期待している。

普及指導計画への反映状況等

■引き続き、首都圏市場への出荷量の増加と取引単価の向上に取り組む。
■首都圏市場からのニーズに適確に対応するとともに、今後はイチジクの加工品に対するニーズについても把握に努めたい。